

はぐくむ
vol.67
2021年 9月号



吹田徳洲会病院 院長
金香 充範

地域の皆様、厳しい暑さが続く中、いかがお過ごしでしょうか？

当院は2014年の開院以来、地域の皆様に受け入れて頂くために様々な広報活動を展開してきました。その一環として広報誌「はぐくむ」を編集・発行し、ご好評を頂いておりましたが、2020年から全国で猛威をふるった新型コロナの影響でここ1年間は、感染防止対策に追われ、取材の密を避ける観点からも、昨年5月より発行を一時、お休みさせて頂いておりました。しかし、このたび「はぐくむ」の発行を、再開する運びとなりました。

昨年1年間を振り返ると、当初は一般患者様を感染から守るために「コロナを入れない」方針でしたが、大阪府内の感染が予想以上に拡大したことから、「府全体の医療のひっ迫の改善に貢献すべき」との意識の変容を余儀なくされました。コロナ対応病院としてのシステム作りを終了し、スムーズに動き出した今年5月の連休明けに院内クラスターが発生し、常日頃から感染予防の意識を高めることの大切さを改めて思い知らされました。患者さまを始め、ご家族の皆様には多大なる不安や、ご心配を与えてしまったことは誠に申し訳なく、お詫びを申し上げます。

一方で、地域から信頼される病院であり続けるためには、病院側からの正確な情報発信を止めるべきではないことも改めて痛感しました。再開する「はぐくむ」を通じて、当院の最新の情報や、私たち医療提供者側の考え方も正しくお伝えしていければと考えております。

同時に定期的に行ってきた医療講演会も、今後、ワクチンが皆様に行き渡った段階には、「ZOOM」による講演から、十分な感染防止対策を講じた病院内での「対面」講演の開催へと切り替えていく予定です。

今後も皆様に「安心・安全の医療」を届けられるように、私たちは信頼される病院を目指して参ります。

Topic

■ ドクター着任のご挨拶

■ 新型コロナ感染症対応チーム

■ 全職員が「心をつ」にしたコロナ対応を可能に！

• Take Free •

ご自由にお持ち帰り下さい

～ドクター着任のご挨拶～

内科 副院長 ^{たかはし としき} 高橋俊樹

1月1日付で着任しました。今まで、阪大第一外科、山形大学第二外科、大阪労災病院、国立大阪医療センター、大阪警察病院（医務局長兼任副院長）で心臓血管外科の手術、診療に従事してきました。循環器領域における最先端医療を目指すとともに常に心掛けてきたことは、ガイドラインに基づく患者様個々に適した治療選択、手術の低侵襲化、生活の質向上を目指した周術期管理を中心とするチーム医療の充実、です。今後は、長年の診療経験を生かして高齢者の方を中心とした総合診療的な役割も積極的に担って行きたいと思っています。どうか宜しくお願いいたします。

昭和 57 年卒
所属学会・資格専門医

日本循環器学会認定循環器専門医、日本外科学会指導医・専門医、三学会構成心臓血管外科専門医・修練指導者、日本血管外科学会認定血管内治療医、日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部・腹部ステントグラフト指導医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 SAPEN シリーズ指導医、植込型補助人工心臓管理医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医、日本医療安全学会高度医療安全推進者、臨床研修指導医養成講習、緩和ケア研修会

脳神経外科 部長 ^{うの じゅんじ} 宇野淳二

倉敷、堺にて脳神経外科一筋で日夜精進、研鑽してきました。地域住民の方々への啓蒙、救急隊との脳卒中救急体制の確立、地域開業医の方々との顔の見える連携を築き、最新の脳神経外科治療、脳血管内治療（カテーテル治療）を行なっています。私の専門領域は脳卒中の急性期治療であります。脳神経外科領域全般に多くの手術治療実績があります。執刀医として、脳動脈瘤 850 例、CEA 160 例、脳腫瘍 470 例、脳血管内治療 700 例です。

昭和 58 年卒
所属学会・資格専門医

日本脳神経外科学会指導医・専門医、日本脳卒中学会指導医・専門医、日本脳神経血管内治療学会指導医・専門医、日本脳卒中の外科学会指導医

麻酔科 部長 ^{おかの ゆかり} 岡野紫

はじめまして。医師になって 30 年以上になりますが、とても身が引き締まる思いがしております。吹田徳洲会病院には、外勤医として数年勤めて参りました。外科系先生方の技術の高さとシャープなご判断を目の当たりにして、自分のスキルを磨きたいと心から願っております。麻酔科宮尾先生のご指導を戴き、手術室スタッフの皆様と共に良い仕事ができますよう努めますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昭和 63 年卒
所属学会・資格専門医

日本麻酔科学会 指導医・認定医、日本透析医学会 専門医、日本専門医機構専門医（麻酔科領域）

歯科口腔外科 ^{おぎもと まみこ} 荻本真美子

はじめまして。2021年4月より歯科口腔外科の診療を担当いたしております。これまで大学病院の口腔外科に勤務しておりました。病院の歯科って、一般の歯医者さんとう違うの？と思われる方もいらっしゃると思います。親知らずの抜歯や全身疾患のある方の歯科治療、顎口腔領域の炎症性疾患や粘膜疾患などを扱っています。歯科治療を通じて地域の皆様に貢献できるよう日々努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

平成 28 年卒
所属学会・資格専門医

日本口腔外科認定医

整形外科 ^{かわしま こうき} 川島康輝

2021 年 4 月より吹田徳洲会病院に入職させていただきました川島康輝と申します。関西医科大学整形外科に入学しており医師 6 年目になります。骨折など救急外傷を含め整形外科疾患をたくさん経験したいと思っております。みなさまのお役に立てるように努力していこうと考えております。これから宜しくお願い申し上げます。

平成 28 年卒

整形外科

かわばた ゆうた
川端祐太



関西医科大学附属病院整形外科から転勤になりました川端と申します。私は福岡大学卒業後、関西医科大学附属病院で2年間研修し、その後、同大学整形外科に入局しました。今年で医師4年目になります。まだまだ未熟な私ではありますが、日々勉強に励み、たくさんの事を経験しながら患者様の為に一生懸命頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

平成 29 年卒



救急診療科 部長 鷹羽浄顕

たかば きよあき



今春より救急診療科に着任いたしました。昨年からのコロナ禍により、救急医療の現場には激動の嵐が吹き荒れています。医療の原点は救命救急にあることを毎日痛感させられる日々を ER にて送っております。専門は救急救命および心臓血管外科ですが、ウォークインから心肺停止まで幅広く地域住民の患者さまの医療ニーズに応えられる救急医療を提供して行きたいと思っております。是非ともよろしくお願いたします。

平成 4 年卒
所属学会・資格専門医

日本救急医学会専門医、日本脈管学会専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本外科学会指導医・専門医、三学会構成心臓血管外科専門医・修練指導医、臨床研修指導医養成講習



消化器内科 武田直久

たけだ なおひさ



平成 8 年卒で、兵庫医科大学病院や兵庫医科大学ささやま病院や東京都立駒込病院等で研修を受けました。(兵庫医科大学)松本教授がお亡くなりになった後は、医局を離れ消化器内科を中心とした一般内科診療をしておりました。昨年の 4 月より非常勤医師として当院の内科で勤務しておりましたがこの度、消化器内科で勤務することになりました。今まで培った医療を地域の皆様に還元できるように頑張りますので宜しくお願いします。

平成 8 年卒
所属学会・資格専門医

日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医



歯科口腔外科 西澤千晶

にしざわ ちあき



2021 年 4 月より歯科口腔外科で勤務いたしております、西澤千晶と申します。経験はまだ浅く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、歯科口腔外科医として基礎を学ぶべく歯科口腔外科樋口部長の御指導の下、常に自己研鑽し、より高い技術と知識の習得を目指して参ります。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

令和 2 年卒
所属学会・資格専門医



眼科 医長 文俊貴

ぶんとしたか



この度 4 月から、吹田徳洲会病院アイセンターに入職しました文俊貴と申します。眞野先生が率いますアイセンターチームの雰囲気、そして最新鋭の手術装備、外来施設に惹かれ、入職させて頂きました。眞野先生の元、白内障手術だけではなく、硝子体手術や緑内障手術にもこれまで以上に取り組む次第でございます。診察や手術の技術にさらに磨きをかけ、全力で日々の診察、手術に取り組んで参りますので、今後ともなにとぞ宜しくお願いいたします。

平成 20 年卒
所属学会・資格専門医
日本眼科学会専門医



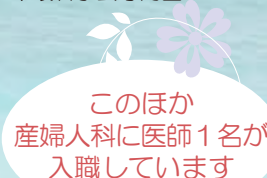
眼科 細木安希子

ほそき あきこ



令和 3 年 5 月から眼科に着任いたしました。京都府立医科大学平成 22 年卒の細木安希子です。大阪医科大学眼科学教室でお世話になっていましたが、この度ご縁があって吹田徳洲会病院で勤務させていただくこととなりました。ベテランの先生方と一緒に働けることを楽しみにしております。また、微力ながら地域医療にも貢献させていただけたらと思っております。宜しくお願い申し上げます。

平成 22 年卒
所属学会・資格専門医
日本眼科学会専門医



新型コロナウイルス感染症対応チーム

全職員が「心を一つ」にした コロナ対応を可能に！

吹田徳洲会病院 顧問
丸川征四郎
新型コロナウイルス感染症対応チーム・リーダー



当院では2020年4月より、院内に「新型コロナウイルス感染症対応チーム」を発足し、新型コロナウイルスに係る感染防止対策と診療体制を強化すべく金香病院長よりチーム・リーダーを拝命しました。当チームは、内科、外科、従来のICT（感染対策チーム）等から選抜された医師による精鋭部隊で発足しました。毎週1回、定期的な対策会議を実施し、当院組織全体の新型コロナウイルスに係る全情報を集約し、現場で発生する問題の掘り起こし、基本方針を決定します。私たちの提案内容を幹部会で最終決定した後、即座に

医療現場へとフィードバックします。当初から院内メールを用いた「コロナ通信」という広報ツールを全職員に発信しています。同通信は今年8月初旬で通巻66号に達しました。通信では、一方向から対策を周知させるだけでなく、職員側の意見や提案、更に医療現場での不安や課題等も出来得る限り吸い上げ、それら一つひとつに丁寧に答えていくことで、院内の意思統一や情報の共有化を進めてきました。チーム発足から1年以上が経過し、災害対応と同じ考え方で機動的にチームが対応してきたので、全職員が「心をひとつ」にした感染対策が取れるようになった手ごたえを感じています。

当院の患者さまや市民の皆さまへのメッセージとしては、感染予防のために一番、大切なこととして十分な睡眠と栄養のバランスの取れた食事等、普段の健康管理を前提に、日常行動として手洗いとマスクの着用を、心がけて頂きたいと考えます。

加えて、コロナワクチンを未接種の方は、ワクチン接種に躊躇しないで下さい。ワクチン接種が終わっていれば、万一、感染することはあっても重症化を予防できます。当院では検査体制の整備・拡充に加えて、毎日、100人前後の市民の皆さまへのワクチン接種を実施しています。ご自身及びご家族の身体を安心・安全に守るためにも、ワクチンの早期接種を心がけて頂きたいと思います。



医療法人沖繩徳洲会
吹田徳洲会病院
06-6878-1110 (代表)



介護老人保健施設
吹田徳洲苑
06-6878-9100 (代表)



〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西21-1
<https://www.suita.tokushukai.or.jp>